

# 四国地域の経済動向

(令和3年6月分)

## 1. 鉱工業生産 ～緩やかに持ち直している～

当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は2カ月ぶりの上昇、出荷は2カ月連続の低下、在庫は2カ月ぶりの低下、在庫率は3カ月連続の低下となった。なお、前年同月比では、生産は3カ月連続の上昇、出荷は3カ月連続の上昇、在庫は10カ月連続の低下、在庫率は3カ月連続の低下となった。

生産は、前月比0.1%増(前年同月比15.2%増)となり、生産指数(季節調整済)は93.4となった。業種別にみると、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、化学・石油石炭製品工業などが上昇し、非鉄金属工業、電気機械工業、輸送機械工業などが低下した。出荷は、前月比0.7%減(前年同月比8.9%増)となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、非鉄金属工業、輸送機械工業などが低下し、電気機械工業、食料品工業、金属製品工業などが上昇した。在庫は、前月比0.2%減(前年同月比7.6%減)となった。業種別にみると、化学・石油石炭製品工業、鉄鋼業、汎用・生産用機械工業などが低下し、食料品工業、非鉄金属工業、繊維工業などが上昇した。在庫率は、前月比1.8%減(前年同月比15.1%減)となった。

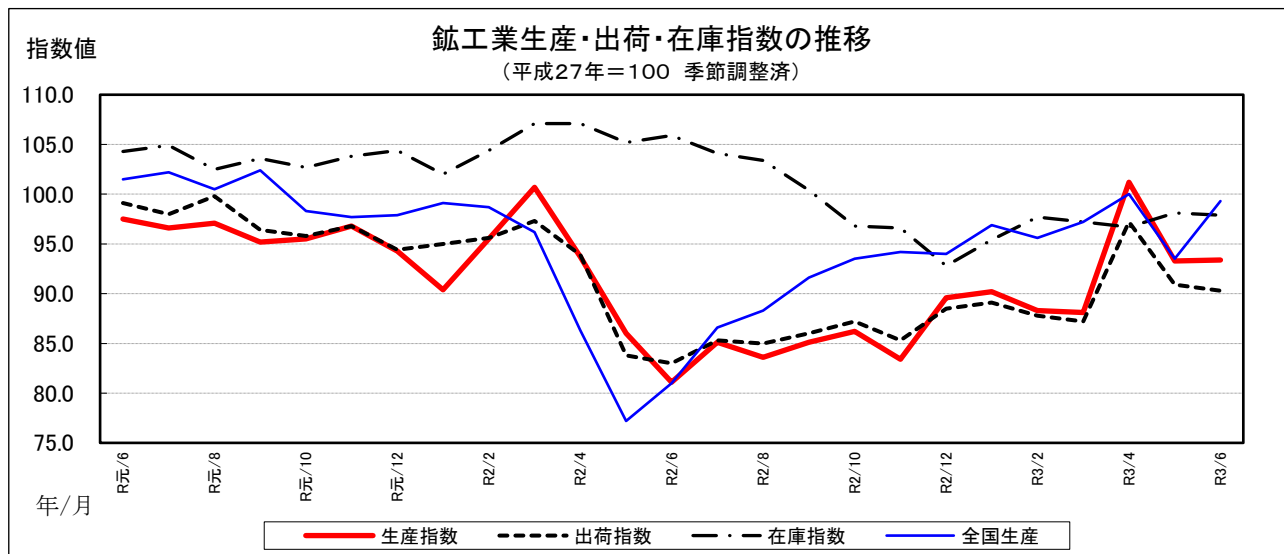
【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 平成27年=100】

(増減率：%)

前月(年、期)比	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
生産指数	▲ 8.3	0.7	▲ 2.1	▲ 0.2	14.9	▲ 7.8	0.1
出荷指数	▲ 8.4	0.7	▲ 1.5	▲ 0.7	11.5	▲ 6.5	▲ 0.7
在庫指数	▲ 12.6	2.8	2.4	▲ 0.5	▲ 0.5	1.4	▲ 0.2

※最新月は速報値

(出所：四国経済産業局)



## 2. 個人消費 ～持ち直しの動きに足踏み感～

### (1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー256店(百貨店4店とスーパー252店)の販売額は442.5億円で、前年同月比6.1%減と3カ月ぶりに前年を下回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は58.1億円で、前年同月比20.0%減と3カ月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、「衣料品」が引き続き外出自粛傾向などで低調だったことに加え、前年の第1回緊急事態宣言に伴う休業などで抱えた在庫の処分セールなどの反動などもみられたことなどから3カ月ぶりに、「身の回り品」が引き続き堅調に推移する高級ブランドバッグなどの高額商品に前年のセールの効果の反動減がみられたことなどから4カ月ぶりに、「飲食料品」が店舗の減少などで売上が減少したことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。

スーパー252店の販売額は384.4億円で、前年同月比3.6%減と3カ月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、「衣料品」が梅雨入りが早く気温も低かったため夏物衣料の動きが鈍かったことなどから4カ月ぶりに、「身の回り品」が紳士靴、婦人靴、ハンドバッグなどが不振だったことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。一方、「飲食料品」が、引き続き内食傾向で、生鮮食品や冷凍食品が堅調だったほか、アルコール飲料も動きが良かったことなどから3カ月連

続で前年を上回った。

コンビニエンスストア1,600店の商品販売額及びサービス売上高は233.7億円で、前年同月比1.3%増と4カ月連続で前年を上回った。カウンターコーヒー、冷凍食品、アルコール飲料などが好調に推移した。一方、アイスクリームやチルドカップ飲料などは動きが鈍かった。

家電大型専門店の販売額は85.0億円で、前年同月比25.4%減となった。梅雨入りが早かったことなどでエアコンが低調だったほか、巣ごもり需要などで大きく伸長した前年の反動減がみられた。

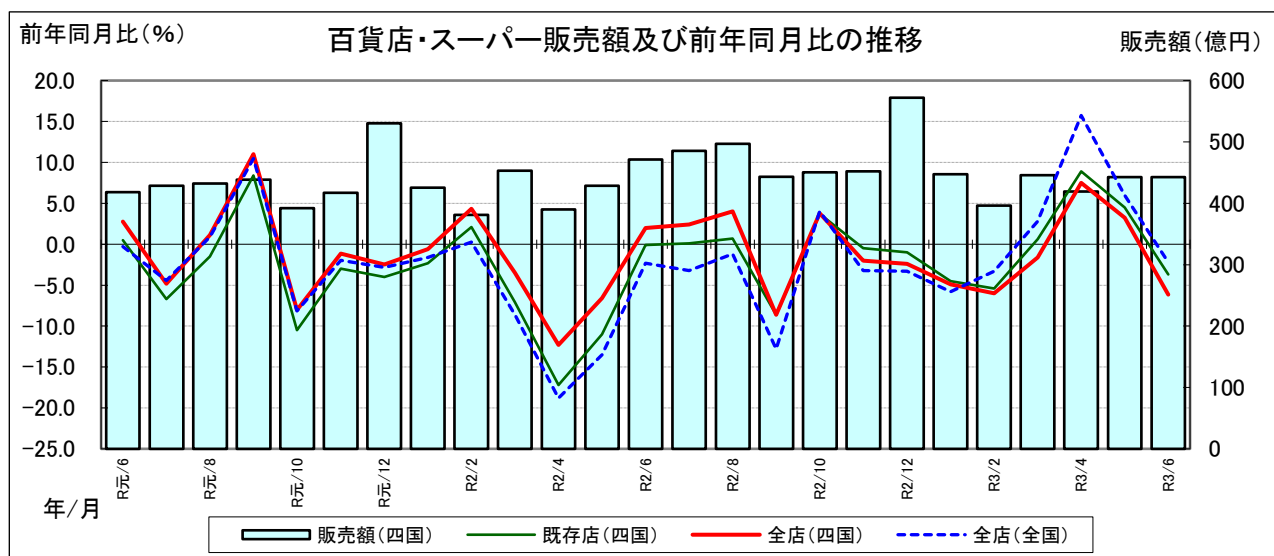
**【百貨店・スーパー販売額】**

(増減率：%)

前年同月(年、期)比	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
全 店	▲ 1.7	▲ 4.9	▲ 6.0	▲ 1.6	7.5	3.2	▲ 6.1
既存店	▲ 3.4	▲ 4.5	▲ 5.4	0.6	8.9	4.5	▲ 3.7

※最新月は速報値

(出所：四国経済産業局)



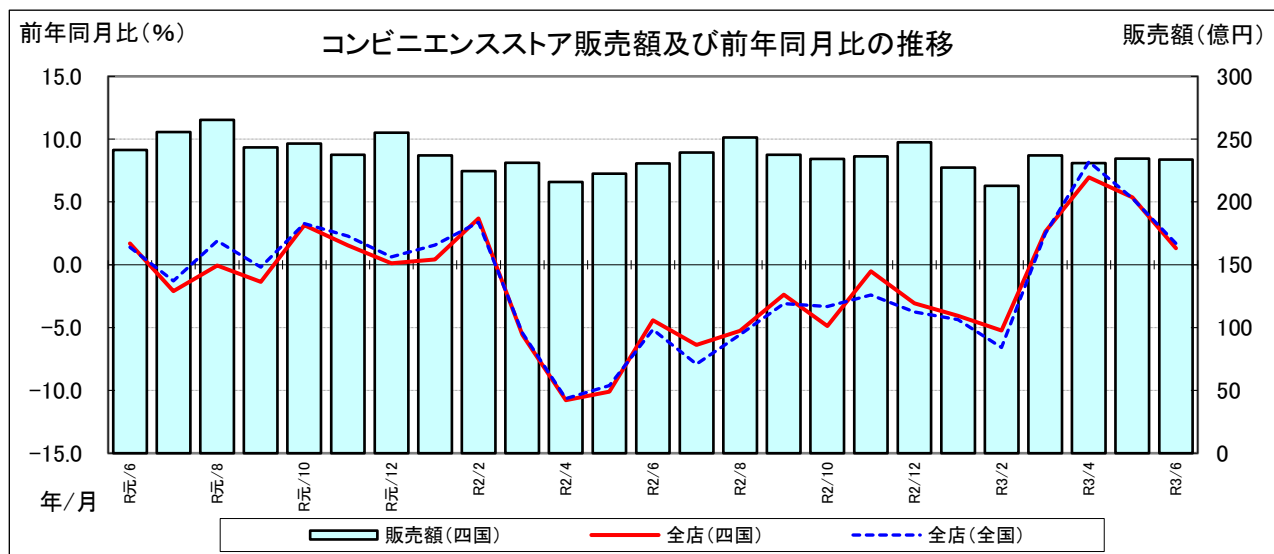
**【コンビニエンスストア販売額】**

(増減率：%)

前年同月(年、期)比	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
全 店	▲ 4.2	▲ 4.1	▲ 5.2	2.6	7.0	5.4	1.3

※最新月は速報値

(出所：経済産業省)



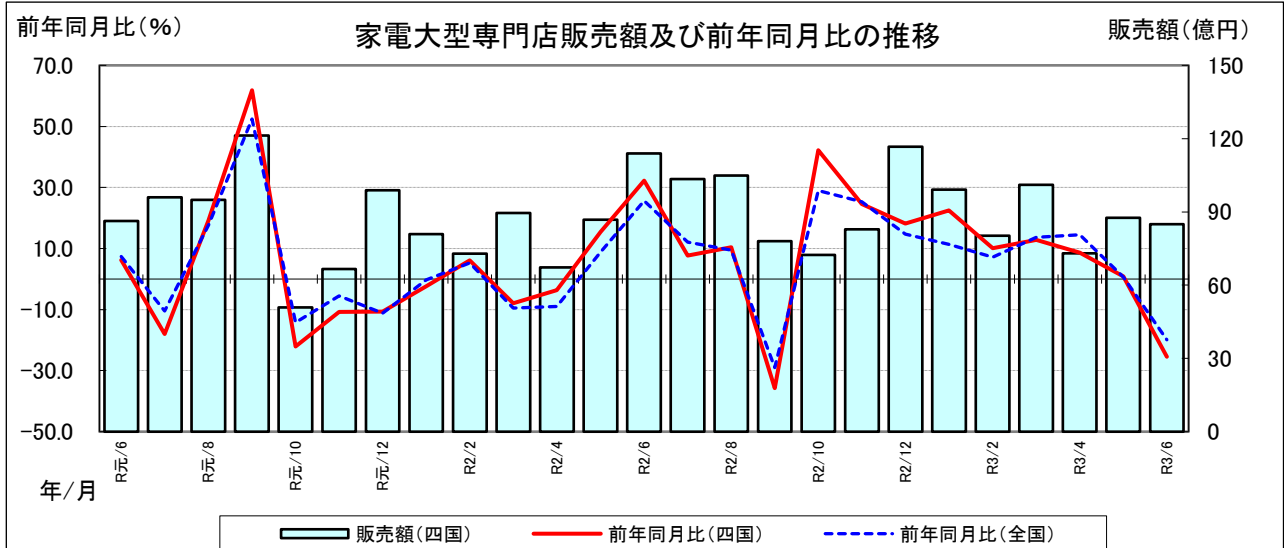
【家電大型専門店販売額】

(増減率:%)

前年同月(年)比	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
全店	6.1	22.5	10.1	12.9	8.6	0.9	▲ 25.4

※最新月は速報値

(出所:経済産業省)



(2)乗用車新車新規登録・届出台数

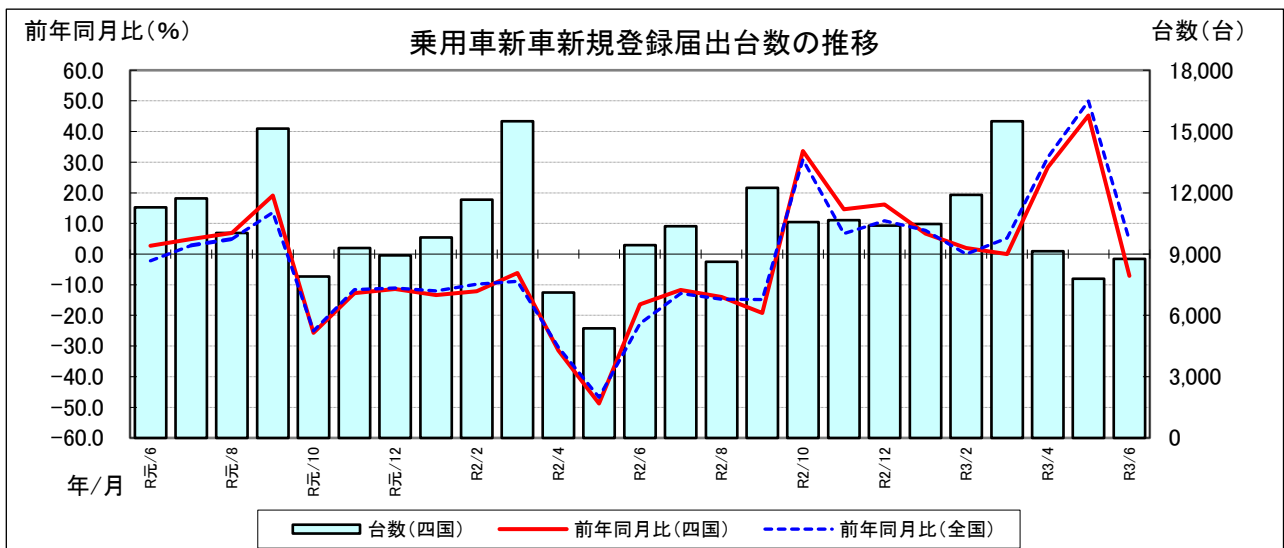
当月の乗用車新車新規登録・届出台数は、8,772台となり、前年同月比7.1%減となった。車種別でみると、普通乗用車が前年同月比19.6%増、小型乗用車が同30.1%減、軽乗用車が同9.0%減となった。

【乗用車新車新規登録・届出台数】

(増減率:%)

前年同月(年)比	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
	▲ 10.7	6.7	1.9	0.0	28.3	45.2	▲ 7.1

(出所:四国運輸局データを加工)



### 3. 住宅着工 ～弱い動き～

当月の新設住宅着工戸数は、1,762戸で、前年同月比4.1%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

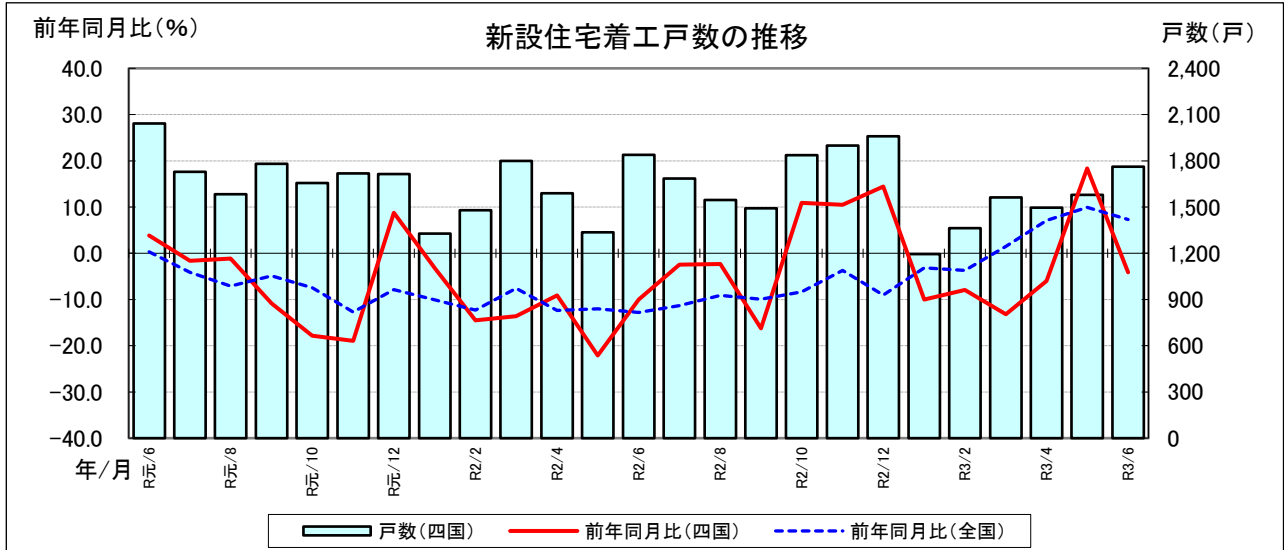
区分別でみると、持家が前年同月比5.3%増、貸家が同12.7%増、分譲住宅は同46.0%減となった。

#### 【新設住宅着工戸数】

(増減率: %)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
前年同月(年)比	▲ 5.2	▲ 10.0	▲ 7.9	▲ 13.2	▲ 6.0	18.4	▲ 4.1

(出所: 国土交通省)



### 4. 公共工事 ～増加の動き～

当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると631億円で、前年同月比19.6%増と5カ月連続で前年を上回った。

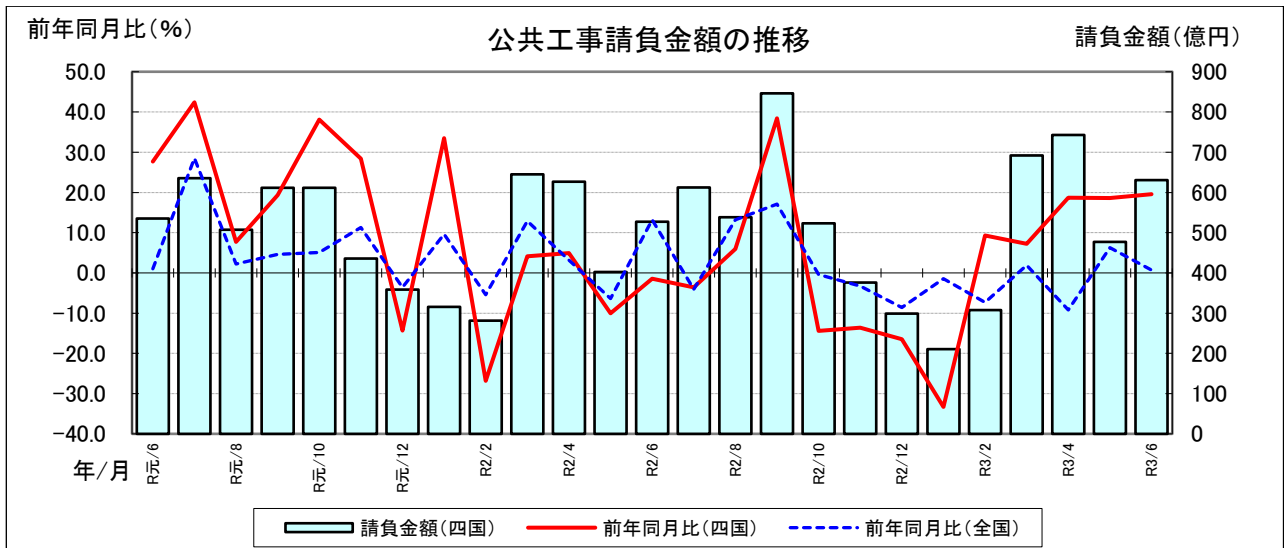
発注者別では、国が前年同月比33.6%増、県が同7.7%増、市町村が同4.4%増、その他の公共的団体が同20.6%増、独立行政法人等が同161.2%増となった。

#### 【公共工事請負金額】

(増減率: %)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
前年同月(年度)比	▲ 0.3	▲ 33.3	9.3	7.2	18.7	18.6	19.6
前年度同月累計比	-	▲ 1.8	▲ 1.2	▲ 0.3	18.7	18.6	19.0

出所: 西日本建設業保証(株)



## 5. 設備投資 ～前年度を上回る見込み～

令和3年度の設備投資計画は、前年度比8.0%増となっている。

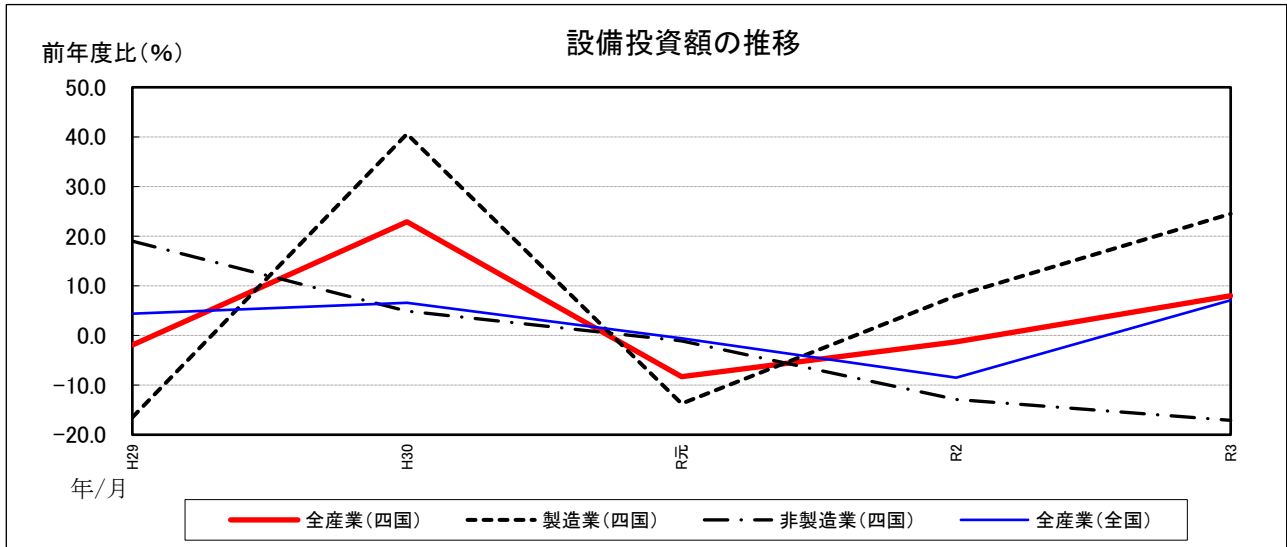
業種別では、製造業が前年度比24.5%増、非製造業が同17.1%減となっている。

### 【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比:%)

	H29 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R2 年度計画 (実績見込み)	R3 年度計画
全産業	▲ 1.9	22.9	▲ 8.3	▲ 1.3	8.0
製造業	▲ 16.5	40.6	▲ 13.7	8.0	24.5
非製造業	19.0	4.9	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 17.1

(出所:日本銀行)



## 6. 貿易 ～輸出は減少、輸入は増加～

### (1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は714億円で、金属鉱及びびくず、非鉄金属などが増加したものの、船舶、石油製品などが減少したため、前年同月比23.0%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。

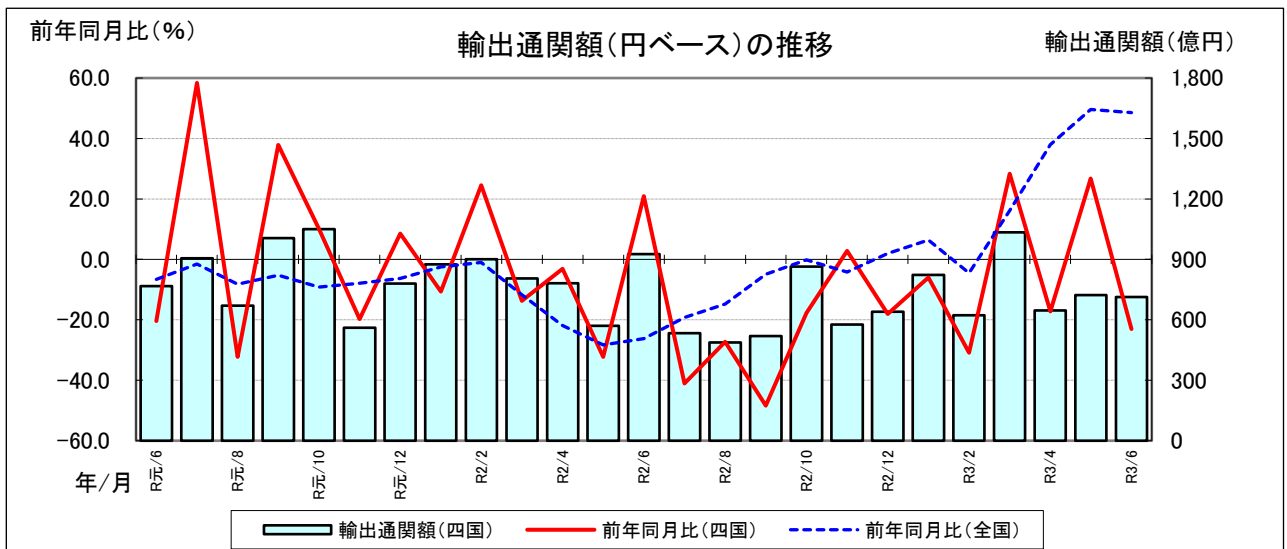
### 【輸出通関額】

(増減率:%)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
前年同月(年)比	▲ 15.4	▲ 6.0	▲ 30.9	28.3	▲ 17.2	26.7	▲ 23.0

※最新月は速報値。

(出所:神戸税関)



## (2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は1,152億円で、天然ガス及び製造ガス、金属製品などが減少したものの、金属鉱及びくず、原油及び粗油などが増加したため、前年同月比31.3%増と、5カ月連続で前年を上回った。

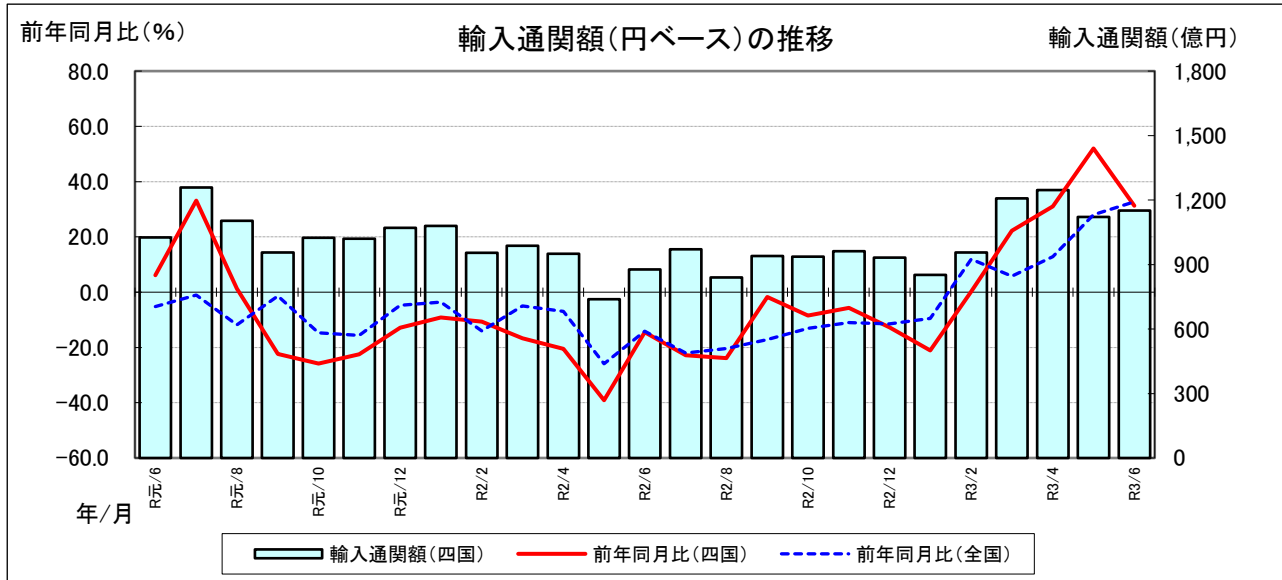
### 【輸入通関額】

(増減率:%)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
前年同月(年)比	▲ 16.1	▲ 21.1	0.2	22.2	31.1	52.0	31.3

※最新月は速報値。

(出所:神戸税関)



## 7. 雇 用 ～弱い動き～

当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.26倍で、3カ月連続の上昇となった。

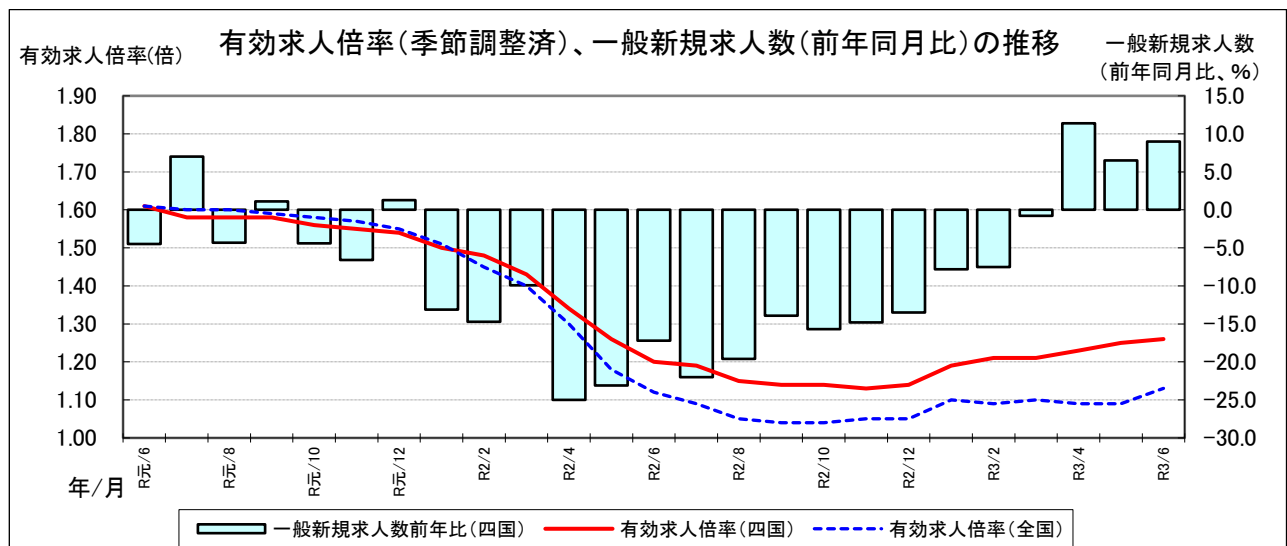
産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「複合サービス事業」、「宿泊業、飲食サービス業」などが前年を下回ったものの、「製造業」、「医療、福祉」などが前年を上回り、全体では前年同月比9.0%増と、3カ月連続で前年を上回った。

### 【雇用】

(倍、増減率:%)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
有効求人倍率(季節調整済)	1.26	1.19	1.21	1.21	1.23	1.25	1.26
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 16.9	▲ 7.8	▲ 7.5	▲ 0.8	11.4	6.5	9.0

(出所:厚生労働省、四国4県の労働局データを加工)



## 8. 企業倒産 ～落ち着いた動き～

当月の企業倒産状況を見ると、倒産件数は14件で前年同月比22.2%減と、14カ月連続で前年を下回った。また、負債総額は14億円で前年同月比78.9%減と、2カ月連続で前年を下回った。

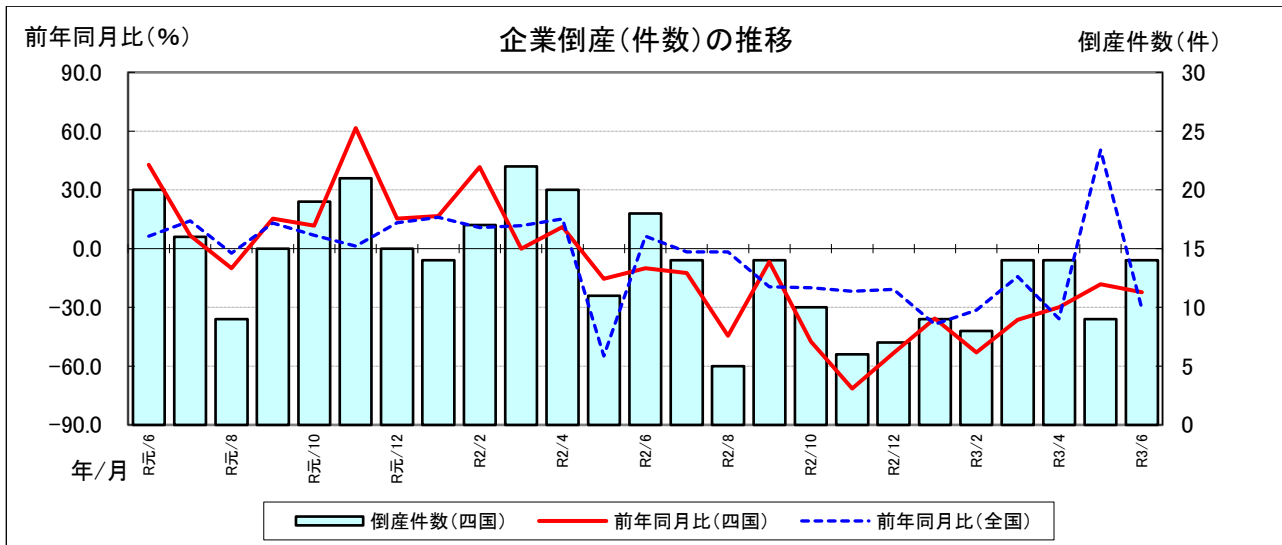
6月の過去10年間をみると、倒産件数は7番目、負債総額は9番目となっている。原因別では、販売不振が11件、他社倒産の余波、既往のシワ寄せ、その他が各1件となっている。また、業態別では建設業、卸売業が各5件、サービス業他が3件、小売業が1件となっている。

### 【企業倒産】

(件、負債総額:百万円)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
件数	158	9	8	14	14	9	14
負債総額	29,897	1,293	760	2,032	8,301	775	1,381

(出所:(株)東京商工リサーチ)



## 9. 消費者物価 ～おおむね横ばい～

当月の消費者物価指数は101.9で、被服及び履物、保健医療などが低下したものの、食料、光熱・水道などが上昇したことから、0.2%の増加となった。また、前年同月比は、交通・通信、保健医療などが低下したものの、食料、諸雑費などが上昇したことから0.3%の増加となった。

### 【消費者物価指数 平成27年=100】

(増減率:%)

	R2	R3/1	R3/2	R3/3	R3/4	R3/5	R3/6
前月(年)比	▲ 0.2	0.5	▲ 0.2	0.1	▲ 0.3	0.2	0.2

(出所:総務省)

